

# 福岡県こどもエコクラブ通信 vol.9

【発行】  
こどもエコクラブ福岡県事務局(福岡県環境部環境政策課内)  
【発行日】  
令和2年3月30日  
【お問い合わせ先】  
Tel 092-643-3355 FAX 092-643-3357  
Mail Kansei@pref.fukuoka.lg.jp



## 「継続届」提出のお願い！！

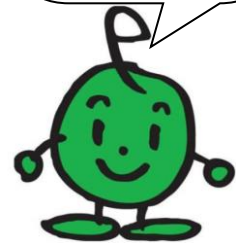
2020年度も継続して活動するクラブは、「継続届」の提出が必要となります。

現在加入している保険の対象期間は3月までとなっており、継続したクラブのメンバー全員に「メンバーズバッジ」が、幼児には「ぼくの・わたしのエコクラブカード」が順次発送されます。

なお、平成29年度から、「メンバー手帳」及び「応援マニュアル」は希望するクラブに対して各冊子1冊100円(送料込み)の実費頒布となり、希望するクラブは継続届に必要部数を記入する必要があります。

2020年度も皆さまと一緒に福岡県のクラブの環境活動を見守り、福岡県事務局としてサポートをさせていただきます。

みんなの登録  
待ってるよ！



こどもエコクラブ  
イメージキャラクター  
エコまる

### ★継続届提出方法★

同封している、または下記の方法で入手した継続届に御記入後、①～③の方法で「こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)」に御提出ください。

QRコードを読み込むと、④のWebサイトに移動し、簡単にお手続きすることも可能です。

#### ① 郵送の場合

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル5F

#### ② FAXの場合: 03-5829-6190

#### ③ メールの場合: j-ecoclub@eic.or.jp

#### ④ 全国事務局ホームページの専用サイトに直接入力

[https://www.j-ecoclub.jp/club\\_entry/](https://www.j-ecoclub.jp/club_entry/)

※「継続届」は、こどもエコクラブウェブサイトでもダウンロードすることができます。

福岡県事務局に  
提出してもいいっ



福岡県広報部長 エコトン

### <こどもエコクラブホームページトップ>



④全国事務局ホームページから直接入力する場合

様式をダウンロードする場合は、お知らせに3月3日に掲載された「2020年度の継続届の受付、スタート!」から入手可能です。



# 活動したら、報告をしてみよう！

クラブで活動したら、ぜひ活動レポートを送ってみましょう。

自然観察、地域のごみ拾い、家庭での省エネ、企業や自治体の環境イベントへの参加など、どんなものでもOKです。

〇令和元年度実施コンテスト（受賞者には副賞を授与）

## (1) 活動レポート新人賞

これまで活動レポートを送ったことがないこどもエコクラブを対象に、毎月1クラブを新人賞として表彰。

## (2) 活動レポート皆勤賞

季節ごと（4～6月、7～9月、10～12月、1～3月）に1回以上、活動レポートを送ってくれたこどもエコクラブが対象。

## (3) フォトコンテスト

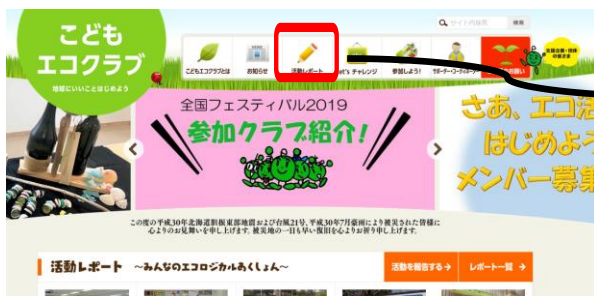
対象者は全こどもエコクラブで、活動レポートに投稿することで併せて応募することが可能。

地域性のあるものや自分たちらしさが出ているものなど、楽しかった活動の写真などを添えて、こどもエコクラブ全国事務局または地域事務局へどんどん報告してください。

報告してくれたクラブにはアーススタンプが付与されます。スタンプを5つ集めてアースレンジャーを目指そう！お待ちしております！！

### ★ウェブサイトからの報告方法★

#### <こどもエコクラブホームページトップ>



ここからクラブページを作成し、報告することが可能です。



環境イベントや寄贈品を使用した活動などエコ活動したら、報告をしてみよう！

賛同する人から拍手が届いたり、環境カウンセラーなどの専門家から、今後の活動に役立つアドバイスやエールがもらえる♪



全国の仲間からの活動報告を紹介しています。他のクラブの活動をヒントにしてみましよう！



## 今年度も協賛企業(イオン九州(株)、マックスバリュ九州(株)、(株)レッドキャベツ)から御支援いただきました!

### ●イオン九州株式会社

11月1日にイオン九州(株)の藤原営業本部南福岡事業部長に福岡県庁にお越しいただき、寄附金の贈呈式を執り行いました。(※1)

寄附については、今年で6回目となります。いただいた寄附金は令和2年度のこどもエコクラブ事業として、イベント等に活用する予定です。

なお、昨年度いただいた寄附金は、今年度、次頁以降の各種イベントで活用させていただきました。

※1 この寄附金は、レジ袋無料配布中止に伴う有料レジ袋収益金を地域の環境保全活動に役立てることを目的として寄附いただいたものです。

【贈呈式の様子】



令和元年度はいただいた寄附金を活用して、宮若市、行橋市・みやこ町、筑紫野市と大牟田市で環境イベントを行って、みんなで楽しみながら学習したっ!

令和2年度はどんなイベントがあるかなあ〜  
今から楽しみだね♪

### ●マックスバリュ九州株式会社、株式会社レッドキャベツ

今年度は、福岡県で活動しているこどもエコクラブに、エコバッグ作成セット・図鑑(幼児中心のクラブ)、手作り石けんの素・図鑑(小学生中心のクラブ)、水質調査キット・書籍(中高生中心のクラブ)など、クラブの年齢に応じた物品を寄贈していただきました。

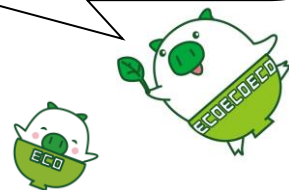
寄贈については、マックスバリュ九州(株)は平成17年度から15回目、(株)レッドキャベツは平成30年度から2回目となる、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン(※2)」の取組の一環として行われています。いただいた物品については、令和元年10月末までに登録した福岡県内の各クラブのサポーター様のもとへ順次発送させていただきます。

※2 マックスバリュ九州(株)や(株)レッドキャベツを含むイオングループでは、毎月11日の「イオン・デー」に、「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施し、発行された黄色のレシートを顧客が店内の専用ボックスに投函し、レシートの合計金額の1%に相当する物品を地域のボランティア団体等へ寄贈しているものです。

【令和元年度の寄贈物品】



マックスバリュ九州さんや  
レッドキャベツさんに感謝の  
気持ちを伝えたいっ♪  
活用している様子を是非全  
国事務局に報告して、ホーム  
ページに載せてみてね★ミ





# 今年度も全国エコ活コンクール(壁新聞・絵日記)に たくさんの御応募をいただきました！

今年も、日頃のエコ活動をまとめた壁新聞や絵日記に県内クラブからたくさんの応募がありました！壁新聞部門において、福岡県からは若松イオンチアーズクラブさんが代表クラブになりました！

＜応募のあった壁新聞を各クラブ 1 枚ずつ御紹介＞

**【若松イオンチアーズクラブ】**  
～かっぱ隊が行く～



**【ガールスカウト F9 クラブ】**  
～海は泣いている ゴミのポイす  
てはダメ！～



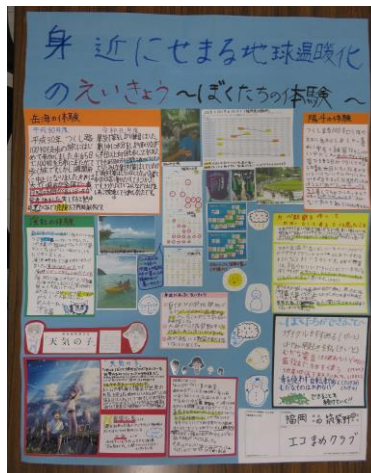
**【そねっとエコクラブ】**  
～ごみはどこへ～



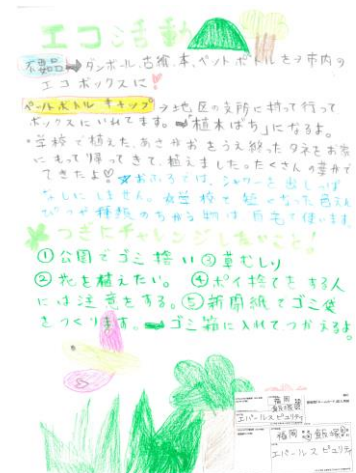
**【ライジングアップ】**  
～ちびっこたんけんたい  
2019 おえかきのまき～



**【エコまめクラブ】**  
身近にせまる地球温暖化の  
えいきょう～ほくたちの体験～



**【エパールスピリティ】**  
～エコ活動～



どの作品も楽しみながら活動している様子  
がわかるすばらしい力作だね！！  
どんなことを発見したかな？  
壁新聞としてまとめることで、新たな発見  
があったかもしれないね。  
来年のコンクールにぜひ応募してみよう♪





## 福岡県事務局と筑豊地区地域環境協議会連携イベント 「夏休み子ども自然観察会 in 千石峡」

7月27日に宮若市宮田にある「千石峡」で自然観察会、同市にある「宮若市中央公民館」で実際に捕まえた昆虫や植物を用いて標本づくりを行い、29名に参加いただきました。

筑豊の自然を楽しむ会（略称：ちくぜんらく）の方に講師になっていただき、午前には自然いっぱいの千石峡を散策しながら、講師の方から説明を聞きながら昆虫や植物を採集・観察しました。午後には、実際に採集した昆虫や植物を使って標本づくりを行いました。

### 千石峡（自然観察会）

清流と鮮やかな緑で涼感あふれる豊かな自然の中で、ハグロトンボやショウリョウバッタ、カラスアゲハなどいろいろな種類の昆虫を採集・観察できました。

参加者自らが見つけた昆虫について、講師の先生に詳しく聞くなど楽しみながら自然観察を行っている様子でした。

#### 【昆虫採集の様子】



#### 【採集した昆虫】



### 宮若市中央公民館（標本づくり）

千石峡で実際に観察して、採集した生き物を子どもたちが発表し、講師の先生が種類別にリストアップを行い、観察した生き物のふりかえりを行いました。

豊かな自然の中には多くの生き物がいることを実感したと思います。

生き物のふりかえりを行った後は、実際に採集した生き物を使って、標本づくりを体験しました。

参加した子どもたちからは、「生まれて初めて標本を作れてうれしかった。おもしろかったので、もう一回行きたい。」といった感想があり、とても楽しそうな様子で、身近な生き物に親しみや興味を持ち、環境や身の回りの自然に優しい行動を心掛けるきっかけになった様子でした。

#### 【標本をつくっている様子】



#### 【完成した昆虫の標本】



標本は採集場所・採集日・採集者名が記載されたラベルを付けないときちんとした標本にならないんだって！僕の作った標本が、100年後の世界で新しい発見につながる貴重な資料になるとうれしい♪





## 福岡県事務局と京築地区地域環境協議会連携イベント 「こどもエコクラブ 京築生きもの探検隊」

昨年に引き続き、8月1日に行橋市及びみやこ町を流れる「祓川の上流・中流・河口干潟の3つの地点」において、水生生物調査等を行い、56名に参加いただきました。

日頃はなかなか行くことのできない自然の中で川遊びを行い、それぞれの地点でしか見ることのできない生き物等を講師の解説を聞きながら、「水辺の水生生物チェックシート（水質について調査します。）」と「福岡県の淡水魚チェックシート（川の環境の豊かさを調べます。）」の2種類のシートを使って、観察しました。

### 上流域

サワガニやヤマメ、準絶滅危惧種のチクシブチサンショウウオの幼生などの生き物が観察でき、水辺の水生生物チェックシートでは平均スコアが4.1、福岡の淡水魚チェックシートでは平均スコアが約3.3となり、水質はとてもきれいで、豊かな自然が残る環境であることがわかりました。

【生き物を探している様子】



【解説を聞いている様子】



### 中流域

準絶滅危惧種のおヤニラミやカマツカなどの生き物が観察でき、水辺の水生生物チェックシートでは平均スコアが約3.8、福岡の淡水魚チェックシートでは平均スコアが約3となり、水質はとてもきれいで、豊かな自然が残る環境であることがわかりました。

【生きものを探している様子】



【オヤニラミ】



### 河口干潟

河口は海水が混じっているため、チェックシートは使わずに観察を行い、コショウダイ、トサカギンボ、アシハラガニなどの生き物が観察できました。

カニは甲羅側から握らず、手のひらに乗せてあげることで暴れず観察しやすいと講師から説明がありました。

川遊びしながら楽しんだ子どもたちからは「楽しかった！もっと捕まえたかった！来年も来たい！」という嬉しい声を聞くことができました。

【解説を聞いている様子】



【トサカギンボ】



今年も珍しい生き物をたくさん見ることができたね！  
水生生物調査が終わった後は、近くの公民館に行ってみんなでアイスを食べたり、ジュースを飲んだりして楽しかった♪





## 福岡県事務局と筑紫・糸島地区地域環境協議会連携 イベント「環境保全団体交流会」

8月23日に筑紫野市にある「竜岩自然の家」で、生物多様性の重要性に対する理解を深め、生物多様性を守っていくため一人ひとりにできることについて考えることを目的とした生きもの調査を行い、31名に参加いただきました。

猛暑続きから一転し、お盆明けは不安定な天候が続いており、イベント前日の夜にも雨が降ったため川が増水した中での開催となりました。

### 講師からの説明

1人が1日に使用する水の量は247リットルにも及び、トイレ、お風呂、台所等で使われた水は排水として出て行くことになります。その排水の汚れについて、わかりやすい例えを用いて説明がありました。排水は、下水道や浄化槽で微生物の力で水を綺麗にしているため、過大な負荷がかけられないことについて説明があり、子どもたちも真剣に話を聞いていました。

#### 【パネルを使って説明する様子】



### 川で生きものを探しているところ

安全管理のために上流側と下流側にロープを張って活動範囲を示しており、今回は前日の雨で増水していたため、川岸から2～3メートルまでの狭い範囲を活動範囲としました。

調査開始直後から、あちこちで「見つけた！」「サワガニを捕まえた！」と歓声が聞こえていました。

#### 【生きものを探している様子】 【つかまえた生きもの】



### まとめ

講師の中島先生からお話があり、魚は、「水のきれいさ」のほかに「餌」と「棲みか」がなければ生きられず、餌となる水生生物や棲みかを作り出す環境があってこそ魚が生息できるそうです。

また、イベントの総括として生物多様性の重要性や生物多様性を守るために一人ひとりにできることについて、職員からお話をしました。

#### 【説明の様子①】



#### 【説明の様子②】



イベントの最後には、生物多様性に影響を与える地球温暖化問題への対策として、一人ひとりにできる「COOL CHOICE」という言葉を教えてもらった♪





# 福岡県事務局と北筑後地区地域環境協議会連携 イベント「こどもエコ体験&自然かんさつ塾」

10月26日に、大牟田市にあるエコサックセンターで、私たちの生活を支える再生可能エネルギーについて学び、延命公園では講師の説明を聞きながら自然観察を行い、11名に参加いただきました。

## エコサックセンター

大牟田市にあるエコサックセンターは、環境学習・リサイクルの実践など環境に関する啓発を目的とした市民交流・学習センターと、環境関連技術の開発および起業家の支援を目的とした環境技術センターが一体となった施設として誕生しました。

また、身の回りにおけるリサイクル製品についてクイズ形式で学んだり、展示してあ

るパネルを見てたくさんのお話を学びました。施設の中を移動して、最後はゴミを排出する地球に模した「SPACE SHIP gomidasu(スペースシップゴミダス)」で環境に悪影響を及ぼしてしまう、私たちの日常の行動について知ることができました。

参加した子どもたちは、エコサックセンターにある体験型施設でリサイクルの重要性について楽しく学んでいました。

【エコサックセンター】



【環境学習の様子】



## 延命公園

延命公園では、講師の方から公園内にある生きものについてたくさんのお話を聞くことができました。

講師の方が説明してくださる生きものの面白い生態について、参加していた子どもや一緒に来ていた保護者の方も驚いて興味津々で話に聞き入っていました。また、帰

りのバスではイベントが終わってしまうことを残念そうにしている子どもたちを見て、今日が充実した一日であったことが伝わってきました。

【説明の様子①】



【説明の様子②】



エコサックセンターではリサイクルの大切さについて学べる貴重な資料がたくさんあった♪  
延命公園でも身近な生きものの生態について知ることができて勉強になった♪



### 編集者より

1年間のこどもエコクラブ活動お疲れさまでした。

令和元年度はどのようなエコ活動をしてきましたか？そのひとつひとつが皆さんの力や思い出になっていれば、とても嬉しいです。

活動を行ったら、ぜひ全国事務局又は県事務局まで報告してください。全国事務局のホームページに活動状況を掲載して、ほかのクラブにみてもらいましょう！

継続届を是非提出し、4月からも楽しくエコ活動続けてくださいね！

掲載している活動については、活動後に県のホームページにも掲載していますので、下記URLからご参照ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/jec.html>